



都工 PTA新聞

平成23年2月28日発行
 No.52
 都工PTA 広報委員会

生徒数 707名
 男子 627人
 女子 80人

RPD II

TOKO PHOTOGRAPH

伝統ある都工吹奏楽部 3年ぶりの第55回定期演奏会



THE TOKO BAND

RPD II 13

TOKO PHOTOGRAPH



NEXT CONCERT

H23.11.23

祝日
水

今年の定期演奏会が決定しました。

12



吹奏楽部顧問 (有馬 秀彦)

今年度4月から、吹奏楽部の顧問をしております。生徒達の若いエネルギーを貰い、楽しく部活しています。



後援会会長 (蒲生 昭一)

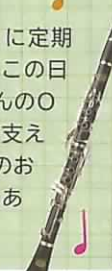
今回、歴史ある都城工業高校吹奏楽部の演奏会に参加させて頂きうれしく思います。また、開催にあたり協力して下さったOBの皆様、ありがとうございました。



2010.11.28 SUN MJホール

吹奏楽部部长 (桑原 光)

今年、吹奏楽部が3年ぶりに定期演奏会をしました。無事にこの日を迎えられたのは、たくさんのOBの方々と後援会の皆様の支えや部員たちの毎日の頑張りのおかげです。みなさん本当にありがとうございました。



PTA会員の皆様

PTA会長 大重幸雄

今年度PTA会長として務めさせていただいた大重です。会員の皆様には日頃からPTA活動へのご理解と御協力を頂いています。心よりお礼を申し上げます。

今年度は、口蹄疫発生による県内非常事態宣言による活動の自粛のため、行事が計画通り実施出来なかった事が悔やまれますが、子供達への勉学、部活動などに対しては例年通りの環境を作る事が出来たと思います。これも子供達に少しでも良い環境を作ってあげようという保護者の熱い想いの賜物だと思います。改めてお礼を申し上げます。

私自身、ひよんなことからPTAの役員として活動にかかわるようになって小・中・高と今年で10年が過ぎます。その間、子供は親の分身だという事を実感しています。どのような子供に育ててほしいか各家庭様々ですが、子供の手本は親だという事です。子供をしっかりと育てるには、まず親である私達が学んで行かなければならない事に気がつきました。子供は高校卒業と同時に社会の一員となり、ひとまず親の手から離れますが子と親の関係は一生続きます。

私達も、日々勉強を重ね子供にしっかりしたアドバイスが出来るように精進して行きたいものです。

今年一年間、お世話になりました。有難うございました。

都工生の活躍を期待する

校長 大重順一

今年度前半は、口蹄疫の災難に遭い、現在は鳥インフルエンザの流行や新燃岳の噴火災害に直面し、養鶏・農作物被害をはじめ観光・レジャーやその他の産業への影響も心配されています。火山灰は日常生活や学校での学習にも影響が出ています。PTAの皆様におかれましても、大変な災害となりました。くれぐれも体調をこわすことなくこの苦難を乗り越えられるようご祈念申し上げます。

さて、現在は先の見えない時代・道しるべのない時代だと言われています。確かな指針を見出せない中であって、経済対策、少子高齢化や人口減少、年金・医療、地球環境問題、外交問題等様々な問題が山積しています。一方、中国を筆頭にアジア新興国は産業が活性化し、先進国のどこもが注目し取引を望んでいて競争が熾烈に始まっています。

この様な中で安定志向の大卒生が多いのも原因の一つですが、大学卒（特に文系学部）の就職内定率（昨年12月で68.8%）が低く、またホームレス博士という本も出版されるほど大学院博士課程卒も就職難な時代と聞いています。高卒も大変とされていますが、こと工業系学科の高校はどこも就職内定率が良いと聞いています。本年度の都工生も一流企業からたくさんの内定をいただいております、ほぼ100%の内定率です。ただ、右肩上がり期の経済成長時代ではありませんので今後の産業界の動きに目が離せない状況に変わりはありません。

この難しい時代を生き抜く若者の育成に携わっている我々は、教育活動を通して、健全な体、しっかりした道徳観、そして工業技術や技能をしっかり身につけさせ、地域社会はもとより世界で活躍できる資質を持った生徒を育てていかなくてはならないと思っています。

最後になりますが、卒業生の皆さんに一言はなむけの言葉を贈りPTA新聞の挨拶としたいと思います。京セラ(株)の創業者でJALの再生に取り組んでおられる稲盛和夫氏は「働くことは自らの心を高めるため」とおっしゃっています。真面目にこつこつと働くことが人をつくることになり、人として完成すること。また、そのような人が大成すると言われています。

社会人となる卒業生の皆さんは働くことは報酬を得るため、すなわち労働を必要悪とらえる考え方は止めて、働くことは修行と同じで、自分を成長させる手段と考え一生懸命に働いて欲しいと思います。かつて日本人は勤勉だったから、あの高度経済成長が出来たと言われました。閉塞感が漂う今こそ、勤勉な若者たちが日本の活路を見いだして欲しいと思います。都工生にはその先頭を走る気概と自信を持って仕事(進学する人もいずれは仕事)に頑張ってもらいたいと思います。「アイ キャン ドゥ イット やればできる」です。

第60回 全国高等学校PTA連合会大会 (東京大会)

8月19日～21日

特別第3分科会

キャリア教育とPTA ～未来を創るキャリア教育と子どもと地域を育むPTA～

嶽 利浩

都立杉並高校吹奏楽部の素晴らしい演奏の中、昭和女子大学人見記念講堂に、都城工業高校の3名を含め多くの参加者が集まった。立教大学の小島貴子先生の基調講演で「多様化する社会の中においては、子どもたち自らが人生を主体的に切り拓く意欲と能力が必要であり、そのためには、家庭・学校・地域が連携して支援する必要がある」と述べられ、具体的な内容の説明等があった。その後のパネルディスカッションを通して、周りの様々な人々達が、協働連携しながら子どもたちを育てていくことの重要性を改めて確認した。



宮崎県高等学校PTA連合会大会秋季研究大会

10月8日～9日

「母親研修会」 (講師：辰身信子氏)

「心の通い合う親子のかかわりについて」と題し 辰身信子氏の講義がありました。

参加者でグループワークを行ない、「自分の事を知り伝え」、「相手の情報を知り」、「その事に対し考え受け止める事」で、コミュニケーションが取れることが分かりました。

子供が親に自然に話せる環境を作り、頭から子供の話を否定せず、考えを聞き、その子供の考える道に相応しい情報を与え、一緒に考え答えることが子どもとの信頼関係を作ります。その為にも親も色々な考えを持つ必要があり、子供の将来で不安なことは、関わる他の保護者や学校の先生などに相談し情報を受ける事で、子供の持つ悩みなどに対処出来るのではないかと思います。

別府 満



生徒指導とPTA (講師：初鹿野聡氏)

今の子供達は沢山の情報の中で暮らしているので、情報を聞き入れシュミレーションし、どう対応するか出来る人でなければならない。技術の進歩で便利になり、今は一人で生きられる時代になり孤立しがちな社会である。地域の間人間関係が希薄化し助けてと言えない時代であり、見えない所で起こる虐待・DVなど私達が見守るだけでは防げない犯罪が増えている。私達大人、一人一人に社会情勢を作っている。講演を聞いてちゃんと子供達に関わってあげれば健全育成につながる。と確信し、自分の子供の事は自分で考えて行こうと思いました。今回講師の先生、他校の先生と保護者の方々と意見交換出来た事が、とても良い経験になりました。

坂元 淳子



進路指導とPTA活動 (講師：横尾敏史氏)

第3分科会は、「キャリア教育とPTA」を研究テーマに講演とパネルディスカッションがありました。現在厳しい経済状況の社会へ我が子を送り出す為、進学を決めるだけの視点だけでなく、その後社会人として貢献できる人材に育てる為にはどのような取り組みが必要であるのか。キャリア教育とは、早い段階から働く事に触れ職業意識を育む事であり、本校でも行われるインターンシップもこの一環で、将来を決める大切な体験であると思いました。人間関係やコミュニケーションがとれ、自分の行動が決定できる、これには家庭が1つの社会であり家庭内でのコミュニケーションのとり方が大切であると伝えられ考えさせられました。この研究大会に参加させて頂いた事で今後のPTA活動へ活かしていきたいと思えます。

今吉 弘恵





どっちかな?

自転車の事故
自転車は車のなかまです。



事故をおこすと…

- ・刑事上の責任
 - ・民事上の責任
 - ・道義的な責任
- があります!

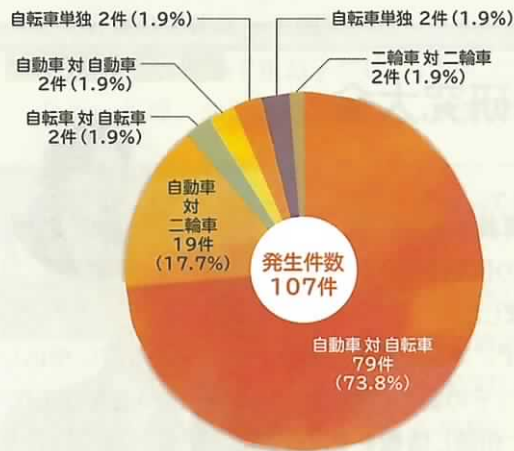
罪金以上の刑事罰をうけると…

医師、栄養士、薬剤士…その他、免許が与えられない事もあります。

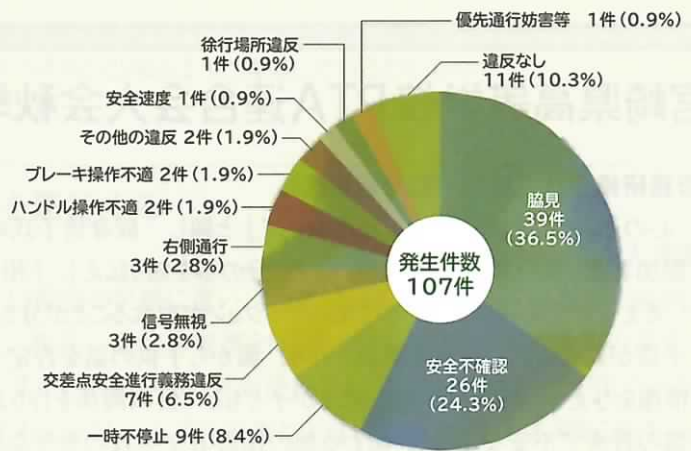
自転車も、交通ルールを守って安全に走行しましょう。

●高校生の交通事故

(1) 態様別発生状況



(2) 違反別発生状況



(3) 時間別発生状況

区分	時間別	0:00-7:00		7:00-9:00		9:00-12:00		12:00-14:00		14:00-16:00		16:00-19:00		19:00-24:00		合計	
		登下校中	家庭	登下校中	家庭	登下校中	家庭	登下校中	家庭	登下校中	家庭	登下校中	家庭	登下校中	家庭		
発生件数	平成21年	2	1	36	3	1	7	0	6	4	6	14	17	4	6	61	46
	平成22年	3		39		8		6		10		31		10		107	
	平成22年	1	1	32	0	3	5	2	6	1	2	22	9	9	1	70	24
		2		32		8		8		3		31		10		94	

交通安全のための5つの基本ルール

- 1 自転車は車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は、歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
- 5 子どもはヘルメットを着用



悲しい手紙を紹介します

外部の方より本校生徒の交通マナーの悪さに対する指摘を受けた手紙です

何度もお願いして来ましたが、残念な事に“うるせい〜ばばあ〜”

と言う事を言われた事もあります。改善されると認める事もできません。

小学生・中学生が信号を守って信号が変わるのを待っている横を平気で

- ・“赤”信号で自転車で渡る事、数多く
- ・禁止されている2人乗りも平気(下校時多し)
- ・明るい内の下校時の横広がって(4~5人)の通行
- ・クラス終了後の暗くなってからの下校時には、“無灯火”で通行

家庭へのお願い

登校時(7時~9時)の時間帯の事故が多くなっています。時間に余裕をもって登校させて下さい。

最近、交通マナーが悪いです。並進、右側通行、イヤホンで音楽を聴きながらの走行、飛び出し…。自転車は軽車両(自転車の仲間)です。交通法規および交通マナーをきちんと守って、登下校しましょう。交差点では左右確認を怠らず、安全を確認してから進入しましょう。人ごとではありません。交通事故はいつ自分の身に起こるか解りません。つねに、安全に配慮しながら運転しましょう。命を落としてからでは手遅れです。

全国で15万件!7割は交差点での事故です。
本校の事故発生件数は15件!!
10月、11月で6件も発生しています。

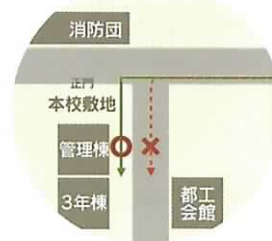
(H22.12.1 現在)

通行注意! (五十市中学校前、都工会館前)

交通立ち番指導を通じて下記箇所の通行について危険があると指摘がありました。十分注意して下さい。



五十市駅方面から右側走行で五十市中学校前の交差点を右折すると、走行中あるいは停車中の乗用車と接触する恐れがあり、大変危険です。左側走行し、2段階で右折しましょう。



本校正面の道路から都工会館前の道路は一般道です。朝・夕の時間は通勤時間帯ということもあり、乗用車と接触の恐れがあります。自転車で東門からの出入りは控え、北側通用門から出入りして下さい。

●事故の一例です

日時	平成22年6月24日(木)
内容	自転車による事故(自転車との接触)
該当生徒	1年生男子 2名
事故内容:	志比田町のミートショップながやま前の道路を鷹尾町交差点方面へ自転車で右側を走行中、ならはら皮膚科医院付近の交差点で右側の道路より出てきた自動車と接触。右足首の打撲、右ふくらはぎの打撲。
事故検証:	相手方が「左右確認が足りなかった」と非を認めているが、自転車で右側通行していたことも事故の一因であると考えられる。

バイク免許取得の原則禁止についてご理解・ご協力をお願いします!

本校はバイク免許の取得について原則禁止しています。それは、本校では過去に死亡事故を含め重大事故が多発したからです。私自身も本校の卒業生ですが私の入学した37年前に本校は既にバイク通学は全面禁止となっていました。それ以前を知る先生にうかがった話では1年間に3件の死亡事故があった年もあったそうです。私自身の高校時代にも1年生と3年生の時にバイク事故で同じクラスの者が死亡しました。死んだ2人の同級生にも彼らなりの夢や希望があり、そして未来があったはずです。しかし、その全てがかなわぬまま16歳、18歳で命を遂げました。生きていれば53歳です。期待をもって入学をした高校の卒業式を迎えることなく葬式で去っていた生徒が何人もいた悲しい歴史があります。学校は「自分を伸ばし健やかな成長を図る」場であり、その場で命が無くなってはならないという反省から現在の「バイク免許の取得については原則禁止」の校則が設けられています。

高校生のバイク免許取得・所持は「遊びの道具を持つ」的な要素が大きく、そのためバイクへの興味や様々な誘惑の強まりが学校生活を疎かにしたり無謀な運転による事故につながります。そのため本校に限らず多くの高校においてバイク免許取得・所持に規制を設けています。

高校時代を充実した日々として過ごせるために「バイク免許の取得について原則禁止」の主旨にご理解のうえご協力をよろしくお願いいたします。

生徒指導部長 黒木正弘



親子で進路実現

クラス共、過去の求人票がクラスに置いてあります
保護者の方でも見る事が出来ますので、教室に行ってみませんか？

	学校での取り組み	家庭では
1年	<p>総合的学習(毎週1時間) 自己理解と職業理解を深める授業を行なっています。 (例:個々の適正を知る為に色んな教材を使い、おおまかな職業、職種を知る。)</p> <p>3年生の就職試験の体験談を聞き、就業感を高める。</p> <p>2学期の参観日にコース選択の説明があります。</p> <p>2年生からの選択授業の希望調査があります。</p> <p>[進学コース] 国公立大学受験や市立大学等、専門学校、一流企業の受験の為に高度な学習を行ないます。</p> <p>[専門コース] 企業に就職する為に、より専門的な学習を行います。 ※進学コースからの就職もたくさんありますが、授業レベルが高いため逆に評価が下がる可能性があります。</p>	<p>親の希望をあまり押しつけるのではなく、本人の希望を尊重し話し合いの時間を持つことが大切です。</p> <p>各学年共、求人票がクラスにあります。</p> <p>通学や就職について本人の考えを整理させるために、ゆつくりと聞く時間を持ちましょう。</p> <p>家庭では早めのコース選択をしておいた方がいいと思います。 (特に四年生大学や医療系・進学・公務員希望は早く決断しましょう)</p>
2年	<p>6月のPTA総会で進路指導部から話しがあります。</p> <p>11月にインターンシップが一週間あり、就業体験する。</p> <p>進路希望先の意志が決定している生徒もいる。</p> <p>修学旅行で関東の大手企業を訪問し、現場を見学する。</p> <p>1月頃、職業適正検査の実施があり、その結果を生徒を通して配布される。</p> <p>3学期には公務員課外が開始される。</p>	<p>進路関係の話がありますので参加して、先輩の進路を参考にして子供の考えを聞きましょう。</p> <p>希望の職種に従事する事が基本ですが受け入れ先の問題もあります。</p> <p>進路を早めに決めると学校側の対応がしやすくなるそうです。</p> <p>学校のパソコンでインターネットの活用するのもいいと思います。</p> <p>家庭でその結果をぜひ、見て下さい。</p>
3年	<p>4月頃、家庭訪問で進路聞き取り。</p> <p>4月から公務員課外を開始する。</p> <p>6月から進学課外を開始する。</p> <p>7月下旬から面接試験の練習開始、夏休み中に第1回目の二者面談で志望調査を行う。</p> <p>企業によっては夏休みに職場体験が実施される。</p> <p>8月下旬、第2回目の三者面談で最終決定。</p> <p>9月16日就職試験開始</p> <p>各試験日から10日程度で内定通知がある。</p> <p>大学入試(推薦入試)が開始</p>	<p>子供と進路について県内外・希望職種等具体的に話し合いを進める。</p> <p>紙面で保護者に連絡がある。</p> <p>企業名と具体的な志望を伝える。</p> <p>自分の希望する企業先の求人がない場合でも、企業にアプローチしてもらえる場合もありますので先生に相談する。</p> <p>試験にむけて旅行の準備が必要です。(制服:冬服での行動)</p>

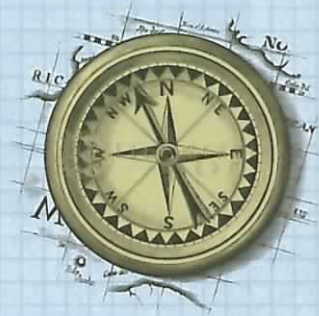
3年生保護者からの意見

できるだけ早い段階（1年生～2年生）で、進路について子供と話し合い、目標を定めることで、親も子供もしっかり準備できる余裕が生まれます。（公務員受験対策など）

3年生での進路変更は、準備不足や情報不足により、親子とも納得の行く選択ができない事もあったそうです。

- ・3年進級時には半分以上は進路が決定していない。
- ・親は求人票を見ないまま3年を迎え、三者面談（家庭訪問）となるので、どこがいいのかわからない。
- ・1年生から教室に求人票があるのさえ知らなかった。（一部の先生からは指導あり）
- ・インターネットを学校で利用出来るのか？生徒、保護者に情報提供するべき。
- ・自宅にインターネットがあれば常に心がけて調べる事も大事です。
- ・技能系、技術系… 企業の仕事内容を把握して面接に臨むことが必要。
- ・学校での面接練習があるが、臨機応変に対応ができるよう家庭でも指導が必要。
- ・3年生の4月までは就職希望だったが、ある事がきっかけで医療に関心を持ち、5月から専門学校に変更した。先生は就職を勧めたが子供の意見を尊重した。無事合格！

※入学決定後1週間以内に前期授業料等の請求がある。進学するにはきちんと入学金・学費等納入時期を把握しておく必要があります。



インターンシップを見学して

2年生になるとインターンシップがあり、それを通して将来の仕事に向けての心構え等を学ぶ事になります。

この時点で将来の企業が確定している生徒は（可能であれば）その企業に行き、お互いの情報交換や企業体験ができます。

今回、イエローハットでのインターンシップを見学しました。イエローハットは全員が素手でトイレ掃除をする事が決められていて、生徒もトイレ掃除をしたそうです。今の子供達は雑巾も絞れないといわれていますが、体験した生徒達は抵抗なく掃除を続けられたとの事でした。

指導されたスタッフさんに「この子供達が今から就職するのに一言アドバイスお願いします。」とお願いしたところ、「夢は叶います。自分の夢に向かって努力してください。失敗してもあきらめないで。」と話して下さいました。素晴らしい一言、ありがとうございました。



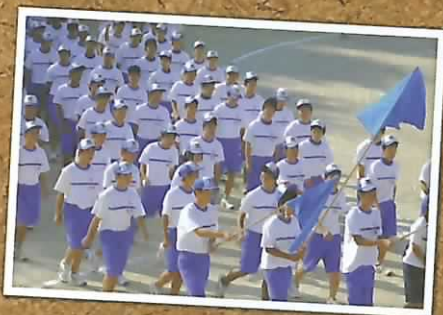
ACTION!
第48回体育大会

平成22年9月26日(日)



都城工業高校	
SCENE	TAKE
体育大会	#01
LOCATION	DATE: H22.9.26 sun
DIRECTOR	SOUND: OFF

総合優勝
化学工業科
(オレンジ団)
初優勝



市内の女子高生



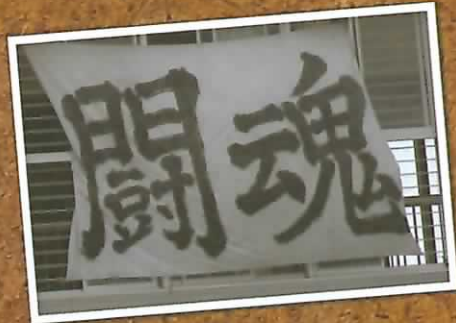
初めて都工の体育大会に
 来ました。
 カッコいい男子の子が多く
 びっくりしました。






最後の体育大会で我が子の成長した姿を見ることが出来て嬉しかったです。

3年機械科神坂純哉君のお母さん





The words of
thanks

卒業生からの 感謝の言葉

「仲間」

 3年 化学工業科 出水大地

僕には、3年間体育大会や修学旅行などでいっしょに都工の高校生活を過ごした仲間がいます。しかし、他にも僕には仲間がいます。それは、高校生活の三年間、いっしょに部活動をした先輩方と後輩です。

僕が都工に入学し、美術部に入部した時に、同じ学年の部員は4人しかいなく、そのうち3人は2つ部活をしていたりしたので実質一人でした。

しかし、面白い先輩がいたり、面白くて元気な後輩が入ってきたりして、部員全員とみんなで協力して活動することができました。

今年の秋に、去年卒業した先輩が来たのですが、新しく入ってきた1年の部員を見て「楽しそうだらやましい。」と言っていました。僕も「まだ部活動をしたい。」と思っているのですが、都工を3月に卒業してしまいます。

もし、休みなどで都工に戻る機会があれば、お世話になった先生方の他に、いっしょに部活動をしたメンバーにも会いに行こうと思っています。

「感謝」

3年 建設システム科 今永研流

僕が、今まで生きてきて感謝したいと思うのは、音楽です。僕は、小さい頃は、音楽以外にはゲームやマンガやアニメにもはまっていたけど、音楽だけは、今まで一度も飽きることなく、聞いてきました。

自分専用のコンポやウォークマンを買ってからは、出かける時や勉強や読書など何かする時は、テンションが上がって、やる気も出るので、よく音楽を聞きながら、していました。この作文も、音楽を聞きながら、考えて書きました。幼稚園生の頃から中学生の頃までは、ピアノ教室に通っていて、高校生になってからは、よく夜更かしをして音楽を聞いていました。だから、音楽は、僕にとって一番身近な存在であり、とても大切な物です。

最近ウォークマンでよく聞くのは、コマーシャルでもよく流れるフットルースです。好きなジャンルは、ポップミュージックやアールアンドビーやクラシックなどです。どんなジャンルでも、どんな時に聞いても、楽しい気持ちにさせてくれるので、僕は本当に音楽に感謝しています。

「高校生活を通じて」

3年 機械科 新田宗浩

私は高校三年間で多くの人に支えられた事に、感謝しています。

担任や副担任、各科の先生、部活の先生、そして仲間。特に部活の仲間です。

練習や試合で共に、喜び、悲しみ、頑張りを支えあった仲間それは宝物です。

また私はサッカー部に所属していました。遠征、試合なども数多く、夜遅くまで仕事をしている母は大変だったと思います。それでも、私たちの試合の応援や当番など朝早くから遅くまで送迎やサポートをしてくれました。

一番近くで見守り、協力してくれたのは、母だと思います。その母には本当に感謝しています。

卒業を目の前にして長くも短かった、中身の濃い三年間だったと思います。

これからも新しい、社会に踏み出すわけです。高校生活で学んだ精神とパワーで、頑張っていきたいと思っています。

連載 + 保健室だよ！

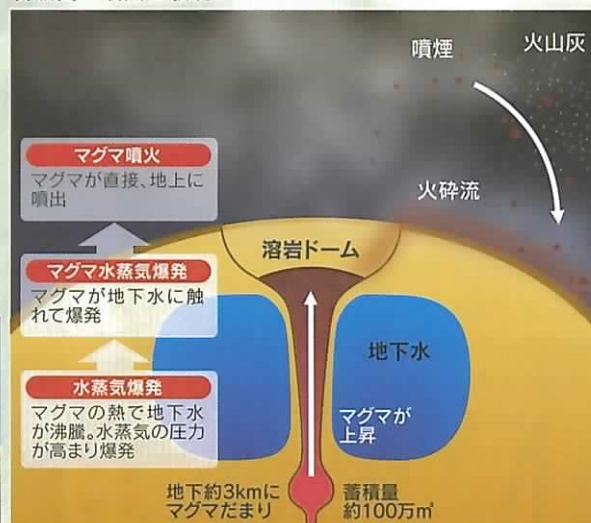
霧島連山の新燃岳 活発な噴火が続いています！

新燃岳では、昨年3月～5月に上昇したマグマで地下水が沸騰し水蒸気爆発による小規模噴火が観測された。1月19日に起きた噴火は噴出物に含まれるマグマ由来の物質が増加、1月26日以降の噴火はマグマ地下水が直接接触して起こる「マグマ水蒸気爆発」に特徴的な爆発的噴火となり火砕流も発生した。今後も噴火は数週間から数ヶ月にわたって継続すると発表（1月31日）されたので油断出来ない状況が続きます。

噴火による降灰が風向きにより都城市・高原町に多くあります。灰は有毒な物質ではありません。灰が舞う事で呼吸器の炎症・アレルギーの誘発などを起こす事もあります。通学時にはマスク・カッパ、歩行時には傘などで防御して、必ずうがい・手洗い・洗顔などをまめに行ってください。降灰だけでなくこの時期は風邪インフルエンザ・花粉症が流行しているので自己管理を怠らないように過ごして下さい。



新燃岳の噴火の状況



TOKAN MENU

味彩弁当 ¥420	ライス ¥150	うどん(小) ¥300
のり定食 ¥300	南蛮丼 ¥420	チャンポン ¥400
のり弁当 ¥300	カツ丼 ¥500	ラーメン(大) ¥370
チキン南蛮 ¥420	たまご丼 ¥300	ラーメン(小) ¥300
都工定食 ¥420	カレー ¥370	素ラーメン(大) ¥370
コロッケ定食 ¥420	コロッケカレー ¥420	(小) ¥300
魚フライ定食 ¥420	カツカレー ¥500	・ラーメンセット
カツ定食 ¥500	うどん(大) ¥370	・うどんセット ¥500

※月極弁当 ¥8,000 → ¥7,000
 ※新メニュー 特弁当 ¥300 ミニ弁当 ¥300 (女子生徒に人気!)
 カツサンド ¥150
 多くの方々の利用をお待ちしています。

PTA バザー報告

PTA バザー収益金

¥ 54,950

今年も体育大会の日に実施しました。

第1部 昼食の時間帯、そして第2部閉会式終了後の2部構成でしたが第1部で大半は売れ、第2部早々には完売という結果でした。

口蹄疫による地区集会中止の為、バザー用品の回収がなかなか進みませんでした。それでも多くの方々のご協力により 54,950 円という収益をあげることができました。ありがとうございました。

なお、益金は 女子生徒の防犯バザーとマスク、消毒液など生徒に役立つ物に活用します。



編集後記

まず、本誌発行にあたり、ご協力頂きました皆様方、広報委員会、一同心より感謝申し上げます。

例年通りならば「都工 PTA 新聞」は年 2 回の発行なのですが今年は口蹄疫の影響で本誌が 1 回となりました。ご理解いただけると幸いです。

さて、今まで何気に手に取り、目を通していた PTA 新聞、

いざ編集に携わって見ますと、まさに手探り状態。

皆様方からご提供頂きました原稿、取材結果を基に、知恵を出し合い、また、先生方から心強いご支援を賜わりながら、何とか発行にこぎ着くことが出来ました。

内容の方も充実している新聞ができたことと自負致しております。各御家庭で親子の会話を楽しみながらご覧下さい。

顧問/中山 治
 部長/別府 満

部員/新田由美子
 白石文子
 桑木明美
 田中豊子
 今永幸子
 出水かほり

坂元 淳子
 池澤 妙子
 押川 眞美
 鎌田 芳子
 細山田朋美
 平松千代子

今吉 弘 恵
 福井ひろみ
 二宮 竜 一
 山下由佳子
 谷ヶ久保美代子
 岡元 悦 子

